

日交研シリーズ A-670

平成 27 年度自主研究プロジェクト

新興国の都市公共交通政策の動向に関する研究

刊行:2017 年 2 月

新興国の都市公共交通政策の動向に関する研究

A Study on Current Urban Public Transportation Policies in Developing Countries

主査 中村文彦（横浜国立大学教授）

Fumihiko NAKAMURA

要 旨

本プロジェクトは、新興国および途上国の都市公共交通政策を対象に、その動向を調査研究したものである。対象地域に、アジアのみならずアフリカや中南米の大都市を加え、一方で、特に都市公共交通にかかる課題に焦点を絞り、文献調査や、対象地域からの留学生や招聘研究者へのヒアリングを通して、現状と課題について資料を収集する活動を行った。具体的な政策課題への展開については、過去 20 年を念頭に、各公共交通機関、関連する道路交政策について、どのような研究調査が展開されたかを整理した上で、環境問題、エネルギー問題、健康問題、貧困問題、交通事故問題とモータリゼーション問題とのバランスの中で政策課題について検討することを方針とした。

活動成果の中から、本報告書では、南米コロンビアのメデジン市の都市交通および同じく南米ブラジルのクリチバ市のバスを念頭において BRT の舗装維持管理費用問題を取り上げた。

メデジン市については、その都市政策の歴史的な経緯および現在の仕組みについてひとつの章を設けた。そこでは、都市政策を特徴づけるキーワードとして社会的都市計画という用語を章題に用い、セルジオ・ファハルド市長がその任期中に、PUI 事業というかたちで、社会的都市計画を実践してきた歴史的経緯とその特徴を紹介した。その上で、続く章において、市内北東部貧困地域へのロープウェイ導入の効果分析を論じた。

BRT の舗装維持管理費用問題については、新興国および途上国の大都市での BRT 導入を念頭に、データ獲得の限界から、一部データに日本のバス事業データ等を活用しながら、汎用的な評価ができるような費用構造分析を行った。

キーワード：新興国、都市公共交通、メデジン、BRT

Keywords : Developing Countries, Urban Public Transportation, Medellin, BRT